9. 結　言

大森慎吾*

今年の夏に打上げられるCOMETS衛星計画の概要，搭載中継器や地球局の機能諸元等を紹介した．COMETS衛星計画ではKa帯及びミリ波帯での移動体衛星通信実験，Ka帯での衛星放送実験が行われる．本実験計画における移動体衛星通信実験は，1996年に終了した技術試験衛星5型（ETS-V）実験の成果を引き継いで行うものである．ETS-V衛星は，世界的な大きな成果を挙げたが，COMETS衛星実験も一層大きな成果が期待されている．一方，衛星放送実験は1978年に打上げられたBSE衛星以来，実に19年ぶりとなる．BSE衛星実験を礎に，我が国は直接衛星放送の実用化では世界の先陣を切った大きな実績を残したがCOMETS放送実験でも世界の先駆けとなる成果が期待される．このように，COMETS衛星では21世紀へむけた新たな周波数帯での高度移動体衛星通信，高度衛星放送の研究開発が進められる．COMETSを用いた実験研究は，学術的な成果は勿論，新たな技術開発，新たな利用技術開発，さらには当所だけにとどまらず，産業界や大学などの学界までも広く含めた活動に発展させ，衛星通信分野のすそ野を拡大していきたい．

COMETS衛星は，1990年から当所と宇宙開発事業団で開発が進められてきた衛星である．しかし，こうしてCOMETS特集号としてまとめることができましたのも，衛星計画の立案から衛星開発，打上げ，さらにその衛星を用いた実験機器の開発にたずさわった郵政省，宇宙開発事業団，衛星開発製造会社などを含めた関係機関の長期にわたるご努力のたまものである．今回の特集号では，これら，COMETS衛星開発の経緯や関係機関との調整状況等に十分な説明を加えることができなかった．本特集号の結言の場をかりて，COMETSの実現に貢献された関係各位に多大なる敬意を表する次第である．

大森　慎吾
Shingo OHMORI
宇宙通信部
衛星通信
E-Mail: shingo@crl.go.jp

* 宇宙通信部